



阿波市

# 議会だより

発行／阿波市議会 編集／議会だより編集委員会  
〒771-1792 徳島県阿波市東原173番地  
電話 0883-35-4118 FAX 0883-35-4150

創刊号

平成18年8月26日



## もくじ

議会構成	2	議決結果一覧表	11
代表質問	3	活動状況報告	12
一般質問	5	編集後記	12
委員会報告	9		

市議会のホームページアドレスは <http://www.city.awa.lg.jp>

# 阿波市議会22名の新メンバーで構成

議長 原田 定 信

副議長 篠原 啓 治

平成18年4月14日 平成18年第1回阿波市議会臨時会が招集され、正・副議長、各常任委員会、議会運営委員会等の議会構成が決定されました。

議会運営委員会（8名）				総務 常任委員会（7名）			
委員長	月岡 永治	志政クラブ		委員長	松永 渉	志政クラブ	
副委員長	稲井 隆伸	〃		副委員長	江澤 信明	〃	
委員	木村 松雄	〃		委員	森本 節弘	〃	
〃	児玉 敬二	〃		〃	正木 文男	〃	
〃	森本 節弘	〃		〃	月岡 永治	〃	
〃	吉田 正	アスカ21		〃	岩本 雅雄	アスカ21	
〃	稲岡 正一	新政21		〃	阿部 雅志	飛 翔	
〃	吉川 精二	飛 翔		〃	稲岡 正一	新政21	
文教厚生 常任委員会（7名）				産業建設 常任委員会（7名）			
委員長	木村 松雄	志政クラブ		委員長	児玉 敬二	志政クラブ	
副委員長	伊藤 雅功	〃		副委員長	笠井 高章	〃	
委員	出口 治男	〃		委員	篠原 啓治	〃	
〃	原田 定信	〃		〃	稲井 隆伸	〃	
〃	三木 康弘	アスカ21		〃	武田 矯	〃	
〃	吉川 精二	飛 翔		〃	三浦 三一	新政21	
〃	香西 和好			〃	吉田 正	アスカ21	

## 議会広報 特別委員会（6名）

委員長	三木 康弘	アスカ21	委員	三浦 三一	新政21
副委員長	正木 文男	志政クラブ	〃	松永 渉	志政クラブ
委員	阿部 雅志	飛 翔	〃	木村 松雄	〃

## 庁舎 特別委員会（8名）

平成18年6月30日設置

委員長	出口 治男	志政クラブ	委員	稲岡 正一	新政21
副委員長	阿部 雅志	飛 翔	〃	児玉 敬二	志政クラブ
委員	稲井 隆伸	志政クラブ	〃	木村 松雄	〃
〃	岩本 雅雄	アスカ21	〃	月岡 永治	〃

# 阿波市議会 第2回(6月)定例会

4月1日就任の、阿波市議会議員22名による「阿波市議会」がスタートしました。平成18年第2回定例会は、6月15日から7月3日までの会期19日間で開かれました。

初日は、条例の制定・一部改正、補正予算、指定管理者の指定など議案67件が市長から提案されました。

市政に対する一般質問は、2日間にわたって、会派の代表質問、一般質問を12名が行いました。

常任委員会は、16日から3日間開き、付託された議案について審査を行いました。

6月30日は、常任委員会の委員長報告、人事案件を含む議案審議、庁舎特別委員会の設置など68件について、いずれも原案どおり可決、同意し閉会しました。

## 代表質問



(志政クラブ)

月岡 永治 議員

**問** 庁舎に対する市長の取り組みについて

**答** 行政改革を推進していく上で、庁舎建設の問題は市民を守る防災の拠点とし、機能性、経済性を重視すると共に住民のサービスの低下を招かないように建設に取り組む。

**問** 南海地震、台風等に対する予防策。昨年提案の自主防災組織の進捗状況は

**答** 防災課を新設し、一割に充たない防災組織率を各自治会、消防等関係機関と連携し、本年三割に。又、住民の意識を高めるため、県の防災出前講座などを活用し、防災資材や機材の助成も実施していく。

**問** 本市二百五十八名の出生児数、死者数五百三十三名の大変な現状をどう考え、少子化対策

に取り組むのか。

**答** 子育て支援事業として遅れている仕事との両立出来る環境の整備に取り組む、放課後児童健全育成事業、児童扶養手当等拡充し、相談支援など社会・地域が一体となり、取り組む。



現在の阿波市庁舎（本庁）

## 代表質問



(アスカ21)  
三木 康弘 議員

## 大俣に地域活性化インターを！

神戸へ直結の必要性は痛感している。費用対効果の面も内部で十分検討したい。

**問** 阿波市発展のため、徳島自動車道の土成、脇インター十九キロの中間地点にどうしてもインターが必要だ。第二国土軸ルートであった板野IC、大鳴門橋への連結と合わせて宝の持ちぐされ状態の徳島道を我々の為

**問** 阿波市も指定管理者制度が導入されたが、各公民館、図書館、児童館等も市民NPO法人を立ち上げて運営すべき時期に来ている。各施設の職員数、人件費はいくら必要なのか。

の高速道にするため、大俣に地域活性化インター建設を訴えたい。香川県では旧町ごとの五キロおきにインターを造り、今、鳥坂インターまで造っているが。

**答** 公民館については十二名体制で人件費、運営費を含めて一億二七〇〇万円、図書館では十二名で運営費を含め一億三五〇〇万円。児童館では各館正規一名、非常勤二名で予算額一五三〇万円である。

**答** 高速道計画時から大俣地区へのインター設置を要望しているがなかなか難しいものがある。

徳島自動車道四車線化促進期成同盟会で高松、大阪の西日本公団にも陳情に行くが、強く要望して参りたい。阿波市にとって大動脈である高速道路が大俣、



徳島自動車道大俣付近

Q1、庁舎の問題について  
2、ごみ焼却場の周辺対策について  
3、土地改良区の台併について



(新政クラブ21)  
稲岡 正一 議員

**問** 市長として庁舎問題をどう考え、どう進めるのか。

企画部として庁舎の建設は耐震性重点か、環境重点か、複合施設なのか、計画の方向性は。

**答** (市長) 庁舎を造る。これだけにはつきりしている。今少し遅れても立派なもの造るべきと考えている。

**答** 昨年度、庁舎等建設基本計画、PFI(民間資金等活用)導入の可能性調査業務の委託を行った。

市長とも協議しながら、作業

として今後も進めていきたい。

**問** ごみ焼却場の周辺対策事業は、旧土成町と旧吉野町が大体年間三億円少々の周辺対策事業を折半で推進すると聞いている。平成十七年度、旧吉野町は予算ゼロ。公平な事業の予算配分を行うべきと思うが、お考えは。

**答** 土成地区は、平成十五年度から自治会の要望としての周辺対策事業を三年間行った。吉野地区からは、合併当時大型工事として七事業の持ち込みがある。できるだけ平等にできるように努力してまいりたい。

**問** 農家負担を少しでも減少する為にも合併が必要と思うか。

**答** 市場地区の改良区の統廃合の件は、土地改良区の本化を進めてまいりたい。

代表質問



(飛翔)  
**阿部 雅志**  
議員

**Q** 阿波市農業の将来のため、担い手育成確保に向けての取り組みは

**問** 第一次阿波市総合計画の策定スケジュールについて

**答** 平成十七年度、十八年度の二年間で策定する。本年度は、十七年度に実施した調査、分析結果を踏まえ、策定委員会、審議会を経て、基本計画原案を十二月議会に提出いたしたい。

**問** 国は、十九年度より「経営所得安定対策等大綱」を導入し、意欲と能力のある担い手に対象を絞り、認定農業者などの経営体に着目した政策に転換する方針。阿波市の担い手育成、確保をいかに取り組まれるのか。

**答** 担い手の確保については、十七年度より「阿波市担い手育成総合支援協議会」を発足させ

ている。担い手とは農業所得が五百万円、時間数二千時間、対象年齢六十五歳以下としている。十八年度は二百三十世帯の担い手を目標にしている。

**問** 食品衛生法改正によるポジティブリスト（自由化されている品目）制度の農家への周知方法は？

**答** 五月二十九日から、法改正により、残留農薬が一定量を超えると出荷停止になるということで、

J Aを通じて栽培農家への周知徹底、パンプレット配布を行う。



農業振興・ミニトマトハウス

一般質問



(飛翔)  
**吉川 精二**  
議員

**問** 固定資産税・市民税・国民健康保険税・軽自動車税・介護保険料等の各種税の徴収状況また、市営住宅・水道料金・CAテレビ等の使用料の徴収状況について。また、十八年度からの状況を踏まえての取り組みは。

**答** 市民税は、平成十七年度徴収率が九十八・二％、固定資産税が九六％、軽自動車税九四・一％、国保税九一・四％です。

また、介護保険料徴収率九八・五八％、旧土成町のDHKは収納率が九八％、旧市場町のICNでは、収納率が九四％です。水道課の使用料は収納率九八％、国保税の平成十七年度の収入につきましては、不足金四五六万円で九十％を達成できませんでした。

住宅の使用料につきましては、市営住宅一、〇四九戸、七三団地で七八・六五％の徴収率であります。

**答** 今年、平成十八年一月、滞納未収の徴収のための特別班を結成し、野崎助役以下全職員が一丸となつて使用料や税の徴収に努めておりますが、国民健康保険税は九二％をこえなければ調整交付金で制裁を受けるということもあり、十八年度末には必ず結果が出せるように考えております。

**問** 職員採用は、現時点でどのように考えておられるのか。

**答** 昨年と今年の退職者が二一名で、五名以内でいたいと考えており、福祉関係の専門職で、専門職プラス最小限での事務職も考えながら、九月の日曜日に市独自で実施したい。

**問** 市場中学校プール補修について、どのくらいの修理費・日程で修理出来るのか。

**答** 応急処置で使えると聞いておりますが、シートを全部張り替えると六、七〇〇万円ぐらいかかる。

一般質問



(志政クラブ)  
篠原 啓治 議員

**Q1、自主防災組織の取り組みは2、山村鉄工跡地を日本フネンに売却、諸条件は**

**問** 阿波市は、自主防災組織についてどのように取り組もうとしているのか。

**答** 既存の自治会を母体として旧町の実情に合わせた組織としたい。

**問** 中央広域連合の消防本部が昭和四十五年の建築だが、これで責任が果たせるのか。

**答** 既に三十六年経過して大変古い建物ですので、議会が済み次第用地確保の件について色々吉野川市、又中央広域連合と話し合いたい。

**問** 東部臨海埋め立て事業について最終処分場がいない焼却炉でないのか？負担金は、返還されるべきである。

**答** 近く処分場での会議があるので勉強して答弁したい。  
(注 文教厚生常任委員長報告で回答)

**問** 日本フネンへの売却について、①地元雇用について確保されているのか②地元とはどこを指すのか③売却代金の算定方法④日本フネンに決定した理由

**答** ①全体で百名うち半分を地元雇用②阿波市全体を指しその中でも土成地区を優先③平成十八年一月現在が平米一万四百六十円で面積が二万九千平米である。

④他の用地も物色していたので隠密裏に決定した。



S45年築 消防本部  
徳島中央広域連合 消防署



(志政クラブ)  
松永 涉 議員

**問** 日本フネンへの市有地売却については、一点目に税金で買われた土地と施設を売る事、二点目に取得価額よりも七千五百万円安く売る事、三点目に法人税や固定資産税の免除、四点目に周辺の道路整備、多くの税金が使われる企業誘致と就職への多くの市民の要望、この間で阿波市が、するべき仕事は何か。

**答** 地元雇用については、日本フネンとの覚書で約束されており、市民の期待にこたえる様、努力する。

**問** ケーブルテレビ工事入札の談合防止策は何か。

**答** 工事入札後審査方式一般競争入札を実施し、競争性、透明性及び公平性を確保する。また、三工区に分割する事により、入札資格業者が、四十九業者から七十四業社に増える。

**問** 嘱託は、どのような職種か。



日本フネンへ売却した山村鉄工跡地

一般質問



(志政クラブ)  
**正木 文男**  
議員

**Q** 阿波市のシンボルとして  
文化施設の建設は

**問** 合併後一年を経過した小笠原市政の取り組み状況は。阿波市のシンボルとしての文化施設建設についての考えは。

**答** 阿波市まちづくりのために文化ホール等の建設については同じ思いではあるが、庁舎建設の課題もあり複合的施設等総合的に検討していきたい。

**問** 県道志度山川線改良の実施状況と今後の市としての取り組み姿勢は。

**答** 進捗状況は三割程度であり県道舟戸切幡線から北岸用水幹線水路の取りあいまでは平成十八・十九の二ケ年で完成させる。高速から北の部分については、待避所的に県単事業で局部分改良として取り組むよう要望している。

ていく。

**問** 阿波市CATVの取り組み状況と住民への周知、管理運営また本施設の将来における幅広い活用についての考えは。

**答** 周知は主に自治会長を通じてパンフレットの配布や取りまとめを御願いしている。今後は広報阿波、防災無線、電話での質問等に対応していく。管理運営は当面阿波市の管理として運営していく。今後の活用は、テレビ放送の配信だけでなく、防災

・教育  
・保健  
等幅広  
く取り  
組み民  
間の利  
用も検  
討して  
いきたく  
い。



県道志度山川線



(アスカ21)  
**吉田 正**  
議員

**Q** 主要道路整備対策について

**A** 県協議交付金事業で推進要望

**問** 県道船戸切幡上板線の阿波市岩津と同馬場間のバイパス工事が休止の状態であるに至っている。この事業は地域の発展と交通安全、自然災害時大事な道路で一日も早く着工し事業が完了することに期待しています。行政の取り組みについて説明を求めます。

**答** バイパス工事として計画されておられる市にとっても非常に重要な位置に与えておられる議論を重ねて是非推進します。現



船戸切幡上板線工事休止場所

在県の財政の状況では難しいものがある訳ですが交付金事業に認定して頂き阿波市にとっても重要な南北道路の改良ということで整備推進しております。

**Q** 吉野川整備計画について

**問** 旧阿波町内の吉野川河川区域の無堤地域の今後の整備計画と五明谷川、井沢谷川の吉野川合流地点の雑木の伐採計画はどうなっているか説明を求めます。

**答** 吉野川無堤地区については、国県による河川整備計画調整会議で市の要望は前向きに検討されている。雑木の伐採については河川整備計画で進める方針になっている。



無堤地周辺

一般質問



(新政クラブ21)  
**三浦 三二** 議員

**Q1、幹線道路整備計画について  
2、ケーブルテレビ整備事業について**

**A1、国・県・関係機関に要望し、  
最大限の努力を**

**問** 観光都市阿波市を目指し、将来自主財源確保に大きな期待がもてる西条大橋より徳島自動車道ICまでの取合道路建設について聞きたい。

**答** 阿波市にとつては本当に大事な道路だと思っており、出来るだけ早くこの回路ができるように、先行投資を視野に入れ今後とも最大限の努力をして参りたい。

**問** 国道三一八号線中央橋北詰交差点で重大事故がたびたび発生しており早期に改良を、又関連道の吉野香美線改良を進めるのか。

**答** 三一八号線改良期成同盟会が存続しておりその中において悲惨な事故が起こらないように吉野川市とも連携を強め国県に強く働きかけるとともに、吉野香美線と二段構えで早期に解消出来るよう努力したい。

**問** ケーブルテレビ整備事業は一般廃棄物処理施設の周辺対策の一環として地元住民の要望であり、加入金については全て補助対象として位置付けできないか。

**答** 加入金全額補助となると地方自治法に抵触する恐れがあるという見解です。



西条大橋



(志政クラブ)  
**武田 矯** 議員

**Q1、西長峰工業団地の活用  
2、農業振興  
3、教育について**  
(能力、人材の引き出し等)

(能力、人材の引き出し等)

**問** 西長峰工業団地の活用についてどのように考えているのか。

**答** 西長峰工業団地は平成二年に完成し、現在三区画残っている。造成時の坪単価が高く、企業の引きあいがない現状で、引き続き企業誘致に努力したい。

**問** 農業振興についての方策は

**答** 阿波市に適した特産品のブランド品の振興として、七品目のブランド戦略を作成し、J A、阿波市支援センター、耕作者とともに推進してゆきたい。

**問** 農業委員の報酬について

**答** 現在農業委員として年間の報酬は二十万六千五百円。この引き上げには条例の改正が必要となる。

**問** 教育について ①能力・人材の引き出し ②自然を利用した体験学習 ③引きこもり対策

**答** ①子ども一人一人の能力をしっかりと教師が引き出すことが教育の方針。②中学校では農業体験学習、職業体験学習、福祉体験学習をしている。自然体験活動を教育の場に活用していきたい。③引きこもりを不登校児童・生徒として見た場合、現在(五月末)で、中学生二十六名、小学生二名いる。相談する場所として適応指導教室を考えていきたい。



(志政クラブ)  
**木村 松雄** 議員

**Q 1、庁舎問題**  
**2、市営住宅について**  
**3、学校給食等に民間活力導入を**

**問** 庁舎が本庁方式で建設された場合、三支所はどうするのか。  
**答** 本庁舎建設後は、三支所は廃止する方向になると考えている。

**問** 旧土成町で計画されていた四十六戸の住宅建設計画の内、十六戸が完成。残りはどのように検討されるのか。  
**答** 阿波市には千四十九戸、実質的には九百五十戸の住宅の管理をしている。

耐震問題、改修問題、合併浄化槽等のできていない住宅の改善などかかえている。

住宅新築は阿波市全体の中で考えていきたい。

**問** 学校給食調理等の民間委託



板野郡西部学校給食センター 昭和45年6月22日竣工

とゴミ収集業務の民間委託についての方針は。  
**答** 給食センターの民間委託については、教育施設等検討委員会で十分審議をいただくことにしている。

**答** ゴミ行政の停滞は許されず収集時の混乱、効率の低下を招かないよう、七月以降も随意契約で、現在の業者と契約したい。

**総務常任委員会委員長報告**

本委員会に付託された予算、条例等三十三議案について、去る六月二十六日に委員会を開き、審査の結果、原案どおり可決しました。その経過の主なものを報告します。

**質疑** 自主防災組織はどういう内容で作る予定なのか。  
**答** 視察をして、危機意識を持つてもらい、その後県が持っている「よりあい講座」を旧町単位の自治会を対象に行う。その後、各自治体に説明会に行く予定。

**質疑** ケーブルテレビ整備事業の入札の状況はどうか。  
**答** 一般競争入札の入札後審査方式で行い、三工区に分

けて、七月三日に入札の予定。  
**質疑** 住所表示の変更は住民にどのように周知するのか。  
**答** チラシを各家庭に配布し、十二月早々に旧住所、新住所を対比した「くらしナビ」を送付する。事業所については手続き等は必要ない。

**質疑** 国民健康保険税条例の改正で従来の全額が今回の改正でいくらか高くなるのか。  
**答** 一人世帯で七割六割の変わった場合は、旧吉野町で七千六百二十円、旧土成町で六千二百円、旧市場町で五千四百円、旧阿波町で六千三百円増える。五割四割も同じです。

## 文教厚生常任委員会委員長報告

本委員会に付託された予算、条例等九議案について、去る六月二十八日、委員会を開き、審査の結果、原案どおり可決しました。その主なものを報告します。

**質疑** 善入寺島の東部、約三反の土地に土壌改良材と称して、業者が大量に汚泥を投棄しているが阿波市はどう対応するのか。

**答弁** 県は廃棄物ではなく、肥料という見解。今後は国・県・市で充分協議していきたい。

**質疑** 伊沢小学校の耐震補強工事期間の代替教室等、考えているか。

**答弁** 主なものについては夏休みを利用したい。また、体育館については二次診断を今年実施する。

**質疑** 岩野・川原芝・平間・大久保飲料水供給施設の指定管理については、使用料の集金から修理・修繕など行うのか。

**答弁** 指定管理料は無料。集金で賄ってもらうが、老朽化や災害などで大規模修繕が必要な場合は協議をし、負担割合を決定する。

**質疑** 保護者負担の掛かる児童クラブより児童館を建ててはどうか。

**答弁** 児童クラブの施設の制約は特にないが、児童館には規制があり、事業費はかなり必要。負担金については本年度中に格差を是正する。

※市民部長より東部臨海処分場（廃棄物最終処分場）の負担金返還請求については、返還不可能という報告を受けた。

## 産業建設常任委員会委員長報告

当委員会に付託された案件は補正予算一件、条例制定一件、改正一件、その他十四件について審査を行い原案通り可決しました。主な質疑と答弁は次のとおりです。

**質疑** 土柱、金清温泉センター管理委託料の補正予算について

**答弁** 土柱については、人員削減、宿泊・食堂部分を廃止。金清についても人員削減等精査した結果の不足分の補正である。

**質疑** 両施設について、委託料でやっていけない場合補填をするのか。

**答弁** 補填はしない。

**質疑** 吉野川北岸農業用水費補助金は何に使われている

のか。

**答弁** 三年間をめどに合併推進の為の事務費としている。

**質疑** 県単地域農業振興対策事業でどんな事業を行うのか。

**答弁** ミニトマトハウスの設置、レタス、ブロッコリーの育苗センター拡張事業等七事業である。

**質疑** 伊勢山王線、一日も早い完成を望む。その方向性は。

**答弁** 関係者の方々と話し合いをしながら早急に進めていく。

**質疑** 指定管理者制度でどう変わるのか。

**答弁** 民間の能力を活用し、効果的な管理と住民サービスの向上、経費の節減を目指す。

## 平成18年第2回 阿波市議会定例会 議決結果一覧表

議 案 名	議決年月日	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (損害賠償請求控訴事件の和解に係る解決金の金額の変更について)	H18.6.23	承 認
平成17年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	H18.6.23	承 認
平成17年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	H18.6.23	承 認
平成18年度阿波市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算について	H18.6.30	原案可決
平成18年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	H18.6.30	原案可決
平成18年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	H18.6.30	原案可決
平成18年度阿波市老人保健特別会計補正予算(第1号)について	H18.6.30	原案可決
平成18年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	H18.6.30	原案可決
平成18年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	H18.6.30	原案可決
阿波市職員倫理条例の制定について	H18.6.30	原案可決
阿波市林道管理条例の制定について	H18.6.30	原案可決
阿波市国民健康保険税条例の一部改正について	H18.6.30	原案可決
阿波市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について	H18.6.30	原案可決
阿波市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	H18.6.30	原案可決
徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び 徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合同規約の変更について	H18.6.23	原案可決
徳島県市町村総合事務組合同規約の変更について	H18.6.23	原案可決
阿北特別養護老人ホーム組合の共同処理する事務の変更及び阿北特別養護老人ホーム 組合同規約の変更について	H18.6.23	原案可決
中央広域環境施設組合同規約の変更について	H18.6.30	原案可決
市場地区集会所の指定管理者の指定について ほか44件(指定管理者議案)	H18.6.30	原案可決
市有地等の処分について	H18.6.30	原案可決
教育委員会委員の任命について	H18.6.30	同 意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H18.6.30	同 意
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	H18.6.30	同 意

### 指定管理者制度とは

指定管理者制度は、平成15年6月の地方自治法の改正によって、創設された、公の施設の管理運営に関する制度です。

今まで、施設管理委託先は、市が出資する法人や公共的団体などに限られていましたが、この制度の創設により民間事業者や特定非営利活動法人などの団体も含めて選考することが出来るようになりました。

# 活動状況報告

## 阿波市内学校訪問(6月・7月)

文教厚生常任委員会

阿波市議会文教厚生委員会は市教育委員会と共に市内の9幼稚園、10小学校、4中学校の学校訪問を実施し、児童生徒の授業参観、施設見学、先生方との意見交換をいたしました。

6月の5、6、7、8日と6月議会をはさんで7月4、5、6日と一日2校プラス幼稚園訪問という少しハードな日程でしたが、市内の教育現場を廻り勉強させていただきました。



御所小学校屋内運動場新築工事

今回の訪問は学校施設の耐震診断状況、三施設の学校給食問題、小学校の英語助教諭による授業内容、幼保一体化教育問題等が課題でしたが、阿波西高校を核とした小中高一貫教育のためのパソコンの老朽化問題、校内外の子供の安全確保問題、新築御所小学校の校庭との高低差問題等、色々な課題が浮かび上がった学校訪問となりました。

### 学校訪問参加者

委員長・木村松雄 副委員長・伊藤雅功  
委員・三木康弘、吉川精二、香西和好、出口治男

## 編集後記

少子高齢化対策は阿波市でも重要な政策課題となっています。去年度の市内で生まれた赤ちゃんは二百五十八名、出生率アップのためには結婚のための出会いの場、育児支援や育児休業、男女共同参画、働く場の確保等、多岐にわたる配慮が必要です。

デンマークでは一・三だった出生率が一・七にまで改善されたそうです。学童保育もこうしたヨーロッパの先進的試みをまねて取り入れたものです。北欧にはまだまだ私達が観るべき事例が多くあるようです。

アフターファイブのためのパチンコ店も居酒屋もなく、会社から家庭へまっすぐ帰るそうです。気候風土もさることながら、日本とは違った生活スタイルのようです。

議会広報特別委員会 委員長

三木 康弘

平成十八年四月一日から議員定数二十二名の「阿波市議会」が活動を開始しました。

議会の定例会は、三月、六月、九月、十二月に開会されます。

今回は、創刊号として、六月議会の模様を報告いたしました。

2100

※この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙を使用しています。